

ちから学級国語科学習指導案

日 時:令和7年2月3日(月)2校時

場 所:ちから学級

1 題材名 「生きものって へええ そうなんだ」

2 学 級 ちから学級 5名(1年1名 3年3名 5年1名)

3 単元づくりの構想

本単元で付けたい力	
① 本を読んで発見や驚きを見つけ、分かりやすく伝える力	
情報活用能力指導の観点	単元の特質
※アルファベットは「松原小学びの指導体系表」より ○題材の設定 d 興味・関心に応じて学習課題を決める。 ○情報収集 g 生き物の本を読み、必要な情報を集める。 ○情報整理 k ワークシートに書く。 ○情報の活用・伝達 n 相手にわかりやすく発表する。	本単元の重点指導事項は、学習指導要領の内容「C 読むこと」ウ(本などから情報を得て活用)である。 興味をもっている生き物について書いた本なので、児童の話したいという意欲を高めるのに適した単元であるといえる。 「なっぺみたい生き物」のページを読み進めることで発見や驚きの「へええ。」が生まれる。この「へええ。」を友だちに伝えることが、聞く人の「へええ。」につながり、本を読む喜びもふくらむと考える。また、この活動を通してコミュニケーション力を図るよい機会にもなる。
本単元に関わる子どもの実態	
児童は「読むこと」の「情報を発信する」学習として、本で調べる学習に取り組んでいる。 (以下略)	

4 単元の目標

- (1) 身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。(1年)
様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(3年)
思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解することができる。(5年)

【知識および技能】(1) オ

- (2) 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(1年)
目的を意識して話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(3年)
目的や意図に応じて話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。(5年)

【思考力、判断力、表現力等】C(1) ウ

- (3) 進んで知りたいことを調べ、見通しをもって、カードにまとめようとするとともに、友だちに分かりやすく話したり、よさについて感想を伝えたりしようとする。

【学びに向かう力、人間力等】

5 単元の指導計画（全8時間扱い）

- 第一次 「生き物の へええを見つける」①動物
・単元のねらいを知り、学習方法を考え、学習の見通しをもつ。

- 第二次 「昆虫の へええ」「水の生き物の へええ」
・②昆虫、③水の生き物の発見や驚きを見つけて、話す。

- 第三次 「生き物の 『へええ』発表会」～ 交流学級のぞみ学級
・生き物の発見や驚きを見つけて、学んだことをまとめる。

6 本時の指導（3／8時間目）

(1) 本時の目標

本を読んで、「生きものの〇〇って へええ そうなんだ。」と思ったことを見つけることができる。

【思考力、判断力、表現力等】C(1) ウ

(2) 本時の展開

学習活動	・教師の支援	【評 価】
1. 本時の課題をつかむ。	・本時のめあてと学習の進め方を確認する。	
「生きものの〇〇って へええ そうなんだ」を見つけよう。		
2. ワークシートの書き方を確認する。	・教師が作成した見本を見ながら、ワークシートの書き方を確認する。 ① 生きものの 〇〇を選んだ訳 ② 体のつくりなど(2つか3つ) ③ 「へええ。」(発見や驚き)	

3. 発見や驚きを見つけて、ワークシートにまとめる。	・見本のワークシートを掲示しておくことで、書き方を確認しながら自分のワークシートを書くことができるようにする。 ・生きもののすみかや体のつくりなどを2つか3つ選び、最後に「へええ。」と思ったことを見つけて書く。 【思考・判断・表現】<u>発言・観察・ワークシート</u> ・自分が決めた生きものについて、本を読んで驚きや発見を見つける。
4. ペアの友達と紹介し合う。	・紹介の仕方や相手に分かりやすく伝える話し方について確認し、個人で読む練習をしてからペアの友達に伝えるようにする。 ・相手を変えて繰り返し伝え、感想や意見を交流することで伝える。
5. 学習を振り返る。	・学習を振り返り、本時の学びを実感させたり、次時の課題を確認したりして学習のまとめとする。

7 本時の評価規準

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
・自分が決めた生き物について、本を読んで見つけた発見や驚きを、ワークシートに書いている。 ・自分が調べた生き物について見直したり、友達にアドバイスをしたりしている。	・自分が決めた生き物について、本を読んで見つけた発見や驚きを、ワークシートに書いている。	・見本のカードを確認しながら一緒に本を読むことで、発見や驚きを見つけることができるようにする。

8 考察(成果・課題)

本の選定

「先生、ばくがもし生きものになるなら たこがいいな。」「どうして?」「だって、たこはかしこいんだよ。」という会話がこの本との出会いである。学級のとなりにある、読み物図書館の廊下には、本の紹介コーナーがあり、そこに足を止めて読み、担任に知らせにきたのである。本学級の児童は生きものが大好きであり、知っていることがいろいろある。「もしこの生きものになったら」と想像しながら、この本を読み進めることで新たな発見も生まれる内容となっている。そして、その発見をだれかに知らせたいと思いをもつことにつながった。異学年でも一緒に学べる本であった。

ワークシートの活用

本単元では「へええ」を見つける道筋をつくるために、Xの下部分が広いXチャートを使った。まず、生きものの体の仕組みや働きを書き抜く活動を取り入れた。生きものになりたいと思ったわけが「かわいいから」「スパイダーマンみたいだから」と、見て思っていたことが、実際に本を読んでいくと発見や疑問につながっていった。

・ダンゴムシは目が2つあるのに見えにくいのはなんで?

・ダンゴムシの触覚はにおいや温度もわかるんだ!

最後に、次のページを読み、「へええ」を見つけて書き込む活動を取り入れた。書くスペースが広く、書きやすそ

うであった。また、2つ目の「へええ」も書き込むこともできた。この時間を長くとったことでじっくりと読み進め、全員が「へええ」を見つけることができた。

- ・ダンゴムシは大食いということは知っていたけれど、そのうんちが世界をすくうんだ！
- ・ダンゴムシは人間の子どもが、たまご100個分を食べるくらい大食いなんだ！
- ・クモの子どもは旅立ちのときが来たら、草の先に乗って風を待つんだって、かしこいなあ。
- ・ハチは8の字ダンスで仲間に花がある方を教えるんだって！
- ・カブトムシはうまくいけばいっしょんで、てきを投げ飛ばすんだって。長い角を上手に使ってね。

前段の生きものの体の仕組みや働きを書き抜く活動は、予定を変更して前時に個別の時間をとり書き抜いた。短い言葉で抜き出すことは難しいので、一緒に読みながら書き抜くところにアンダーラインをひいたり、○で囲んだりして繰り返し練習することで力をつけたい。

情報の伝達

前半にペアで発表練習の時間をとった。異学年ペアでは、発表の仕方を教える場面が見られペア学習のよさが見られた。

「へええ」を見つける場面で「へええ棒」を準備したことで、「へええ」を見つける意欲につながり、読むことに向かう力が増したと考える。その結果、「へええ」を見つけてうれしそうに伝えようとする姿が見られた。

また、「へええ」を見つけるという課題が、子どもたちの読みにつながって分かりやすかったと考える。いろいろな活動を考えていたが、子どもたちの実態をみて絞り込むことの大切さを実感した。学習のまとめで交流学級の友だちにお話することで伝えることの楽しさを体感させたい。



発表の仕方を教えてあげるね。



ぼくが見つけた「へええ」はね。

